

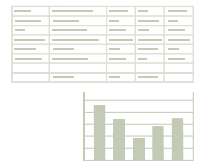
# 情報処理技能 検定試験 表計算

入力データを基に表を作成し、さらに処理条件に従ってグラフなどを作成する技能を問う試験です。

## ◆検定試験のねらい

表計算ソフトの利用を通じて、複雑な数式処理や情報処理能力を身に付けることを目的として実施。

表計算ソフトを使い、複雑な数式処理やグラフ作成などができるようになります。



## ◆試験実施日(年4回)

- ① 7月第2日曜日
  - ② 10月第2日曜日
  - ③ 12月第2日曜日
  - ④ 2月第4日曜日
- 試験日は届出により前後10日間の移動が可能です。

## ◆試験会場

本協会指定会場  
●申し込みのあった各大学、各学校および教室が試験会場となります。ただし、原則として受験者が10名以上であることを要します。

## ◆一般受験料(税込)

初段	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級
5,300円	3,300円	3,100円	2,800円	2,600円	2,300円	1,800円

※本協会が認可した試験会場校では、特定受験料が適用されます。

## ◆試験基準

- ◎試験時間内に処理条件のとおり処理が完成したものを100点満点とし、減点基準により採点して、80点以上の答案を合格とする。
- ◎出題基準・試験時間は、下記の表のとおりとする。

級・段	出題内容	試験時間
4級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字・数字の入力</li> <li>○ 列幅変更</li> <li>○ 計算式</li> <li>○ 合計・平均関数</li> <li>○ 罫線処理</li> <li>○ 表示形式(数字・数値の3桁ごとのコンマ・小数点など)</li> <li>○ %表示</li> <li>○ 表題・見出しの中央揃え</li> <li>○ 文字列の左揃え・数字の右揃え</li> <li>○ 印刷処理</li> </ul>	20分
3級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4級基準を含む</li> <li>○ 判断文</li> <li>○ 絶対参照</li> <li>○ 構成比率の計算</li> <li>○ 最大値・最小値の検索(MAX・MIN)</li> <li>○ 端数処理関数(切り捨て・切り上げ・四捨五入など)</li> <li>○ 順位付け(RANK)</li> <li>○ 通貨表示(¥・\$)</li> <li>○ 日付表示</li> <li>○ 並べ替え(ソート)</li> </ul>	30分
準2級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3級基準を含む</li> <li>○ 検索関数(VLOOKUPなど)</li> <li>○ 多重判断文(入れ子(ネスト))</li> <li>○ 論理演算子(AND・OR)</li> <li>○ 日付の計算</li> <li>○ セルの証明(セルの文字列化の印刷、準2級・2級のみ)</li> <li>○ グラフ作成(縦棒・横棒)</li> </ul>	30分
2級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準2級基準を含む</li> <li>○ 表検索(VLOOKUPなど)の応用</li> <li>○ 多重判断文の応用</li> <li>○ 時刻の計算</li> <li>○ グラフ作成(多様なグラフ)</li> </ul>	30分
準1級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2級基準を含む</li> <li>○ テータベース関数</li> <li>○ 結果データの保存または数式印刷</li> </ul>	30分
1級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 準1級基準を含む</li> <li>○ 文字列操作関数(LEFT・RIGHT・CONCATENATEなど)</li> <li>○ 特殊関数(ABSなど)</li> <li>○ 抽出および抽出後のデータ処理(合計・平均・ソートなど)</li> <li>○ テータベース関数の応用</li> </ul>	30分
初段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1級基準を含む</li> <li>○ テキストデータの読み込み</li> <li>○ シート間の処理</li> <li>○ 高度なグラフ</li> <li>○ 複数のグラフ</li> <li>○ その他応用</li> </ul>	30分

※「セルの文字列化の印刷」とは、証明セルを同列の他のセル(完成した表の下)にコピー、貼り付けし、セル内容の先頭にシングルコーテーション「'」を付け、文字列とし、それを表とともに印刷する。  
※準1級・1級の結果データの保存ができない場合は、数式印刷をする。

☆問題に使用している会社、組織、製品、人物、キャラクター、データなどの名称は架空のもので、実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

処理条件に従って計算処理・関数処理・グラフの作成などを行います。

**問題**

第●●●回(●●●)情報処理技能検定試験(表計算)2級問題

【問題】

1. 表計算ソフトのワークブックを、下記の表1と表2のデータを入力して表計算ソフトを開き、印刷します。
2. 表計算ソフトのワークブックを、下記の表3と表4のデータを入力し、表計算ソフトを開き、印刷します。
3. 表計算ソフトのワークブックを、下記の表5と表6のデータを入力し、表計算ソフトを開き、印刷します。

【入力データ】

表1: 株式会社Aの売上データ

品名	数量	単価	金額
商品A	100	1,000	100,000
商品B	200	2,000	400,000
商品C	300	3,000	900,000
商品D	400	4,000	1,600,000
商品E	500	5,000	2,500,000
合計			5,400,000

表2: 株式会社Aの経費データ

品名	数量	単価	金額
商品A	100	1,000	100,000
商品B	200	2,000	400,000
商品C	300	3,000	900,000
商品D	400	4,000	1,600,000
商品E	500	5,000	2,500,000
合計			5,400,000

表3: 株式会社Bの売上データ

品名	数量	単価	金額
商品A	100	1,000	100,000
商品B	200	2,000	400,000
商品C	300	3,000	900,000
商品D	400	4,000	1,600,000
商品E	500	5,000	2,500,000
合計			5,400,000

表4: 株式会社Bの経費データ

品名	数量	単価	金額
商品A	100	1,000	100,000
商品B	200	2,000	400,000
商品C	300	3,000	900,000
商品D	400	4,000	1,600,000
商品E	500	5,000	2,500,000
合計			5,400,000

表5: 株式会社Cの売上データ

品名	数量	単価	金額
商品A	100	1,000	100,000
商品B	200	2,000	400,000
商品C	300	3,000	900,000
商品D	400	4,000	1,600,000
商品E	500	5,000	2,500,000
合計			5,400,000

表6: 株式会社Cの経費データ

品名	数量	単価	金額
商品A	100	1,000	100,000
商品B	200	2,000	400,000
商品C	300	3,000	900,000
商品D	400	4,000	1,600,000
商品E	500	5,000	2,500,000
合計			5,400,000

【処理条件】

1. 表計算ソフトを開き、表1と表2のデータを入力し、表計算ソフトを開き、印刷します。
2. 表計算ソフトを開き、表3と表4のデータを入力し、表計算ソフトを開き、印刷します。
3. 表計算ソフトを開き、表5と表6のデータを入力し、表計算ソフトを開き、印刷します。

【問題用紙】

**計算処理**

**IF関数**

**VLOOKUP関数**

**SUM関数**

表計算ソフトを使用して作成

**印刷**

**グラフ作成**

**解答**

解答を印刷します

※初段のみデータのみの提出(印刷不要)